

平成30年度 第2回 「一日体験ボランティア」

平成30年10月6日（土）実施の報告

「子ども自然観察クラブ」

草木を使った子どもアート教室のお手伝い

今年度第2回の「一日体験ボランティア」は、「子ども自然観察クラブ」の「草木を使った子どもアート教室のお手伝い」に参加させていただきました。

体験参加者は高校生が3名、大学生が1名、主婦が2名の、計6名でした。

「子ども自然観察クラブ」とは、弘前市立中央公民館の事業である『子どもクラブ』の中の「自然観察クラブ」のことです。

活動内容は、虫などの観察や、動物、木の芽などの観察をするクラブで、小学生を対象に第一土曜日の9時30分から11時30分まで行われています。

今回は、「草木を使ったアート教室」ということで、樹木の観察と工作を行いました。子どもたちが20名程参加し、講師は、『つがるの自然学校』の谷口先生でした。

時々小雨が降りましたが、全員で弘前城植物園に徒歩で移動し、植物園内の樹木の形や大きさ、木の枝などを色々な角度から観察して歩きました。体験参加者も、子どもたちと一緒に子ども目線で楽しんでいる様子が印象的でした。

実際の樹木を目の前に、講師の先生から作り方を聞きながら、子どもたちは数本束ねた針金と手のひらサイズの丸太を使って、自分が好きな木を表現してみようということで、丸太の真ん中に束ねた針金をはめて、針金を自由自在に曲げたり向きを変えたりしながら工作をしていました。体験参加者は、針金を止める手伝いや、子どもたちと一緒に共同作業をしながら楽しく工作をしていました。そして、最後にはそれぞれ個性豊かなアート作品を仕上げていました。

体験参加者からは、「多くの子どもたちと触れ合えることができました。」「木の枝に注目してみると色々な枝の型ができることを改めて知りました。」「子どもたちがかわいかったです。」「外で活動できて良かったです。」「講師の先生のお話もとてもためになりました。」「自然体験ボランティアにまた参加したいです。」という感想をいただきました。

体験参加者と子どもたちが、このような形で交流を持てたことによって、ボランティアは楽しいと感じ、今後のボランティアを始めるきっかけになっているように思いました。